2025年3月期 決算補足資料

2025年5月8日

ソーダニッカ株式会社

１．2025年3月期 連結業績の概況

決算サマリー

2025年3月期　連結業績

売上高

- **65,146百万円（前年同期比　＋1.6%）**

  化学品市況の安定、エレクトロニクス業界向け需要の伸長が貢献

販売費及び一般管理費

- **6,961百万円（前年同期比　+5.2%）**

営業利益

- **2,109百万円（前年同期比　▲4.7%）**

  成長投資に伴う減価償却費の発生等により減少

当期純利益

- **2,195百万円（前年同期比　＋18.6%）**

  政策保有株式縮減に伴い投資有価証券売却益が増加

2026年3月期　通期業績予想

業績予想

- **売上高　　70,500百万円　（前年同期比 +8.2%）**
- **営業利益　　2,340百万円　（前年同期比 +10.9%）**
- **当期純利益　2,300百万円　（前年同期比＋4.8%）**

連結損益計算書

■ 売上高　　：大野ケミカルセンターへの投資効果、化学品市況の安定による商品価格維持等が寄与
■ 営業利益　　：成長投資に伴う減価償却費の発生等により減益
■ 当期純利益　：投資有価証券売却益等により前期比＋18.6％の増益

単位：百万円

	2024/3月期	2025/3月期	増減額	増減率
売上高	64,134	**65,146**	＋1,012	+1.6%
売上総利益	8,830	**9,071**	＋241	+2.7%
販売費及び一般管理費	6,617	**6,961**	＋344	+5.2%
営業利益	2,213	**2,109**	▲104	▲4.7%
経常利益	2,615	**2,477**	▲138	▲5.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,850	**2,195**	＋345	+18.6%

セグメント状況：化学品事業

単位：百万円

	2024/3月期	2025/3月期	増減額	増減率
売上高	43,040	43,402	＋362	+0.8%
セグメント利益	3,416	3,752	＋336	＋9.9%
利益率	7.9%	8.6%	-	-

■　ソーダ関連薬品は好調

・主力のか性ソーダは、エレクトロニクス業界向けの需要伸長により取引増加。

・炭酸ソーダは窯業向け販売数量回復により増加。

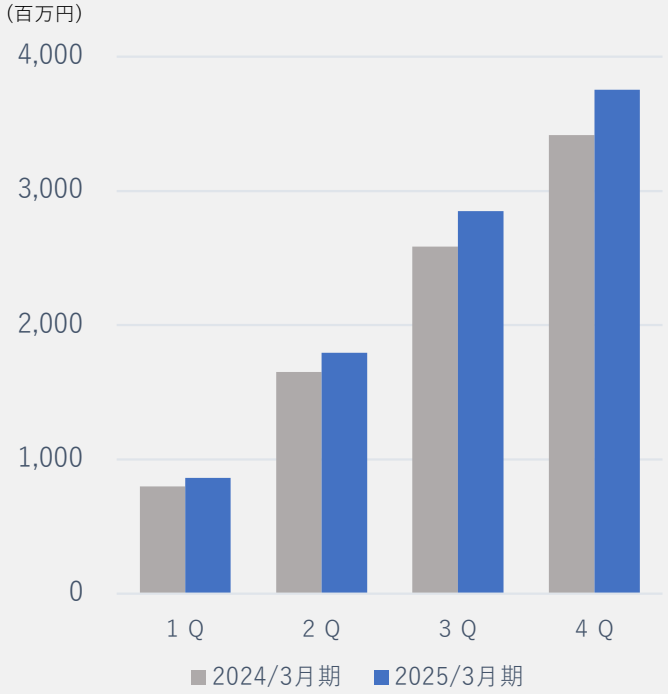
・塩化カルシウムが冬季の融雪剤用途で需要増加。

■　無機薬品は好調

・アルミニウム化合物、鉄化合物は水処理用途の受注が拡大。

■　その他、トイレタリー関連商品が日用品向けの受注好調により取引増加。

【四半期ごとのセグメント利益推移】



セグメント状況：機能材事業

単位：百万円

	2024/3月期	2025/3月期	増減額	増減率
売上高	13,361	13,714	+353	+2.6%
セグメント利益	889	807	▲82	▲9.3%
利益率	6.7%	5.9%	-	-

■　包装関連商品は前年度並み

・ナイロンフィルムは海外需要の落ち着きにより取引減少。

・複合フィルムは国内の食品業界向けで需要伸長。

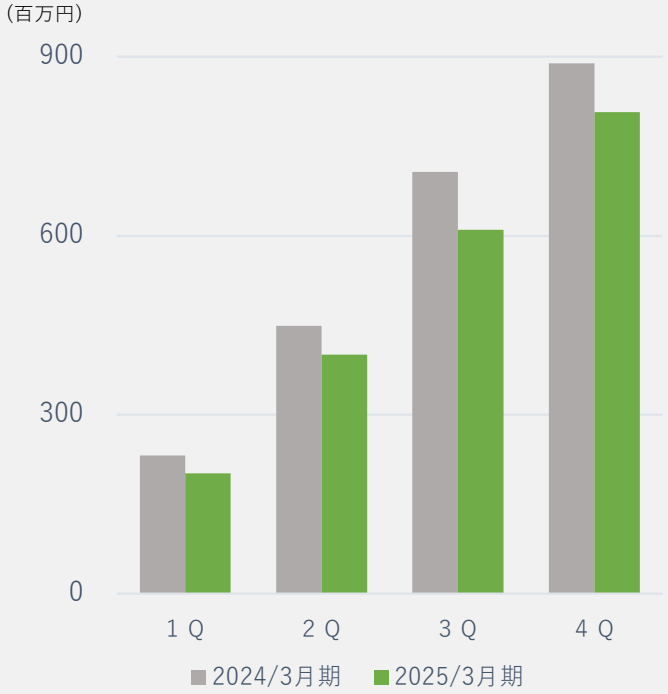
・包装用フィルム・シートは輸出向けの需要伸長。

■　合成樹脂関連商品はやや低調

・ガラス短繊維及び物流容器が、スポット案件の受注減少により取引減少。

・工業用製品は新規案件受注により取引増加。

【四半期ごとのセグメント利益推移】



セグメント状況：その他事業

単位：百万円

	2024/3月期	2025/3月期	増減額	増減率
売上高	7,732	8,029	+297	+3.8%
セグメント利益	270	157	▲113	▲41.7%
利益率	3.5%	2.0%	-	-

■　国内グループ会社は、

・㈱日本包装の新本社工場立ち上げに伴い、諸経費増加。

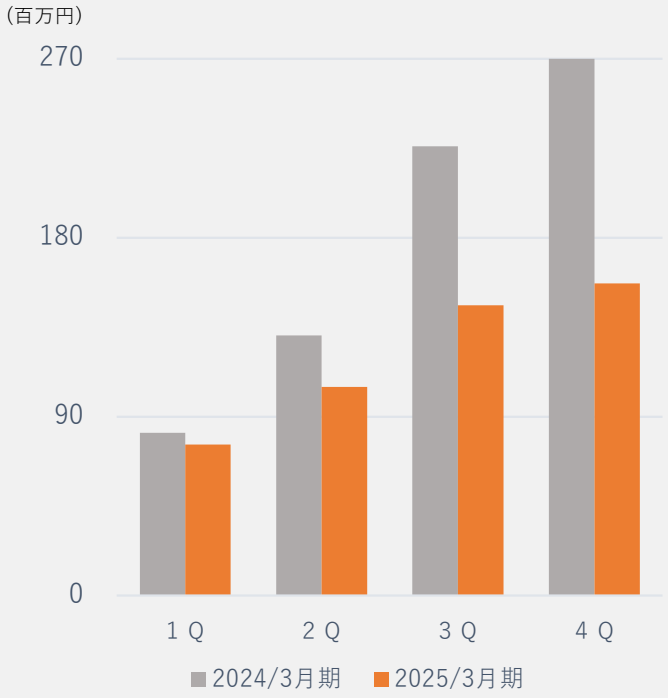
・化学品業界や食品業界を中心に、主要取引先の需要増加や、旅行需要回復の影響等による関連商材の取引好調。

■　海外グループ会社は、

・ベトナムでフィルム取引の新規案件獲得や日本向け輸出が好調に推移。

・一方で、中国国内での取引が低迷。

【四半期ごとのセグメント利益推移】



連結貸借対照表

単位：百万円

	2024/3月期 期末	2025/3月期 期末	増減額
流動資産	**57,550**	**51,247**	△6,303
現金及び預金	9,699	7,231	△2,468
受取手形、売掛金及び契約資産	46,381	41,608	※① △4,773
商品及び製品	1,303	1,442	139
その他	166	966	800
固定資産	**21,947**	**21,952**	5
有形固定資産	5,363	7,135	※③ 1,772
無形固定資産	63	263	200
投資その他の資産	16,519	14,553	※④ △1,966
資産合計	**79,497**	**73,200**	△6,297
流動負債	**45,316**	**39,390**	△5,926
支払手形及び買掛金	37,084	33,351	※② △3,733
短期借入金	6,170	3,165	※⑤ △3,005
その他	2,060	2,872	812
固定負債	**4,723**	**4,274**	△449
負債合計	**50,039**	**43,664**	△6,375
株主資本合計	**21,508**	**22,880**	1,372
その他の包括利益累計額	7,949	6,655	△1,294
純資産合計	**29,457**	**29,535**	78
負債純資産合計	**79,497**	**73,200**	△6,297

【変動要因】

■ **受取手形、売掛金及び契約資産**（※①）
⇒前期末が金融機関休業日であった関係

■ **支払手形及び買掛金**（※②）
⇒前期末が金融機関休業日であった関係

■ **有形固定資産**（※③）
⇒㈱日本包装の新本社工場 建設等のため

■ **投資その他の資産**（※④）
⇒政策保有株式の縮減７銘柄

■ **短期借入金**（ ※⑤）
⇒前期 投資資金への需要対応のため

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	2024/3月期	2025/3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,428	3,294	▲134
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,308	▲1,840	+468
財務活動によるキャッシュ・フロー	147	▲3,913	▲4,060
換算差額	20	▲8	▲28
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,286	▲2,467	▲3,753
現金及び現金同等物の期末残高	9,554	7,087	▲2,467

2025年3月期業績　前回予想(第3四半期)との比較

- ■ 売上高　：冬季の降雪により融雪剤用途の商材需要が伸長
- ■ 営業利益　：販管費の節減努力等による効果で増加
- ■ 経常利益・当期純利益　：営業利益の増加に伴い増加

単位：百万円

	2025/3月期 第3四半期発表 (対前年 増減率)	2025/3月期 通　期 (対前年 増減率)	増減額	増減率
売上高	63,800 (▲0.5%)	**65,146** **(+1.6%)**	＋1,346	+2.1%
営業利益	1,980 (▲10.5%)	**2,109** **(▲4.7%)**	+129	+6.5%
経常利益	2,360 (▲9.8%)	**2,477** **(▲5.3%)**	+117	+5.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,110 (14.0%)	**2,195** **(+18.6%)**	＋85	+4.0%

2026年3月期　通期業績予想

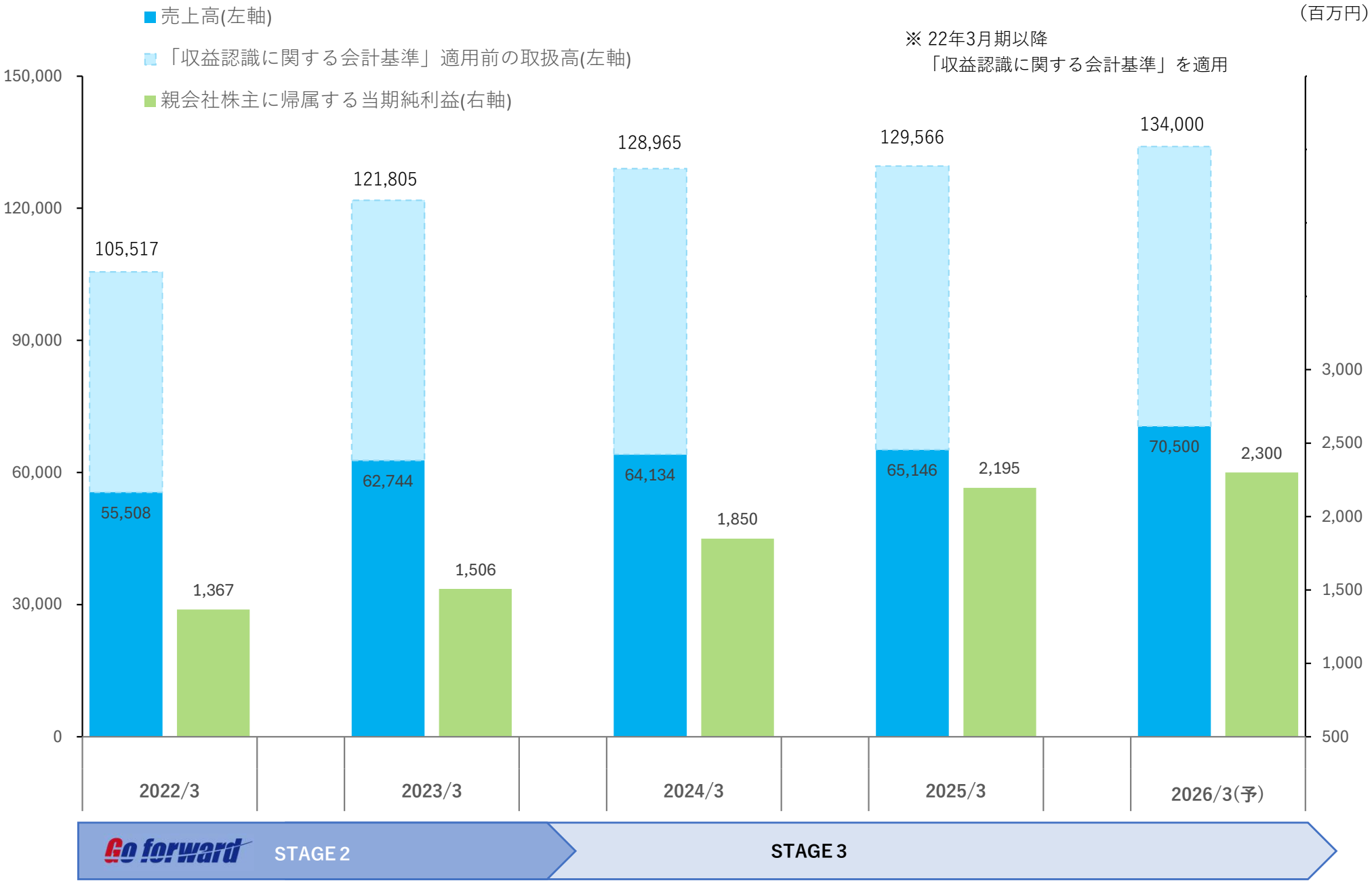
■ 商品価格の高騰や、エレクトロニクス業界向けの出荷好調を背景に、増収増益を予想。
■ 既存投資設備の稼働率向上や、物流機能強化に向けた新たな投資案件の検討等、外部環境の変化に即した対応を引き続き強化する。

単位：百万円

	2025/3月期 通期実績	2026/3月期 通期予想	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	65,146	**70,500**	5,361	8.2%
営業利益	2,109	**2,340**	231	11.0%
経常利益	2,477	**2,670**	206	8.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,195	**2,300**	105	4.8%

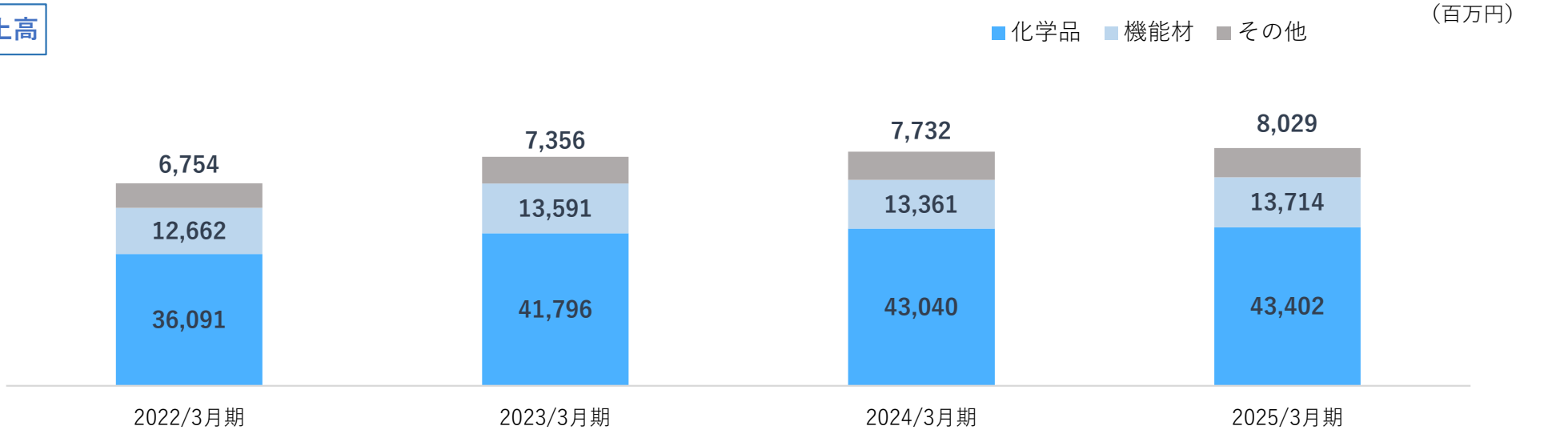
※ 本開示時点では、米国の関税政策の直接的な影響は一部取引に留まっております。今後開示すべき事項が生じた場合は速やかに開示致します。

業績推移


売上高(左軸)
「収益認識に関する会計基準」適用前の取扱高(左軸)
親会社株主に帰属する当期純利益(右軸)
(百万円)
※ 22年3月期以降
「収益認識に関する会計基準」を適用
150,000
120,000
90,000
60,000
30,000
0
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
105,517
55,508
1,367
121,805
62,744
1,506
128,965
64,134
1,850
129,566
65,146
2,195
134,000
70,500
2,300
2022/3
2023/3
2024/3
2025/3
2026/3(予)
Go forward
STAGE 2
STAGE 3

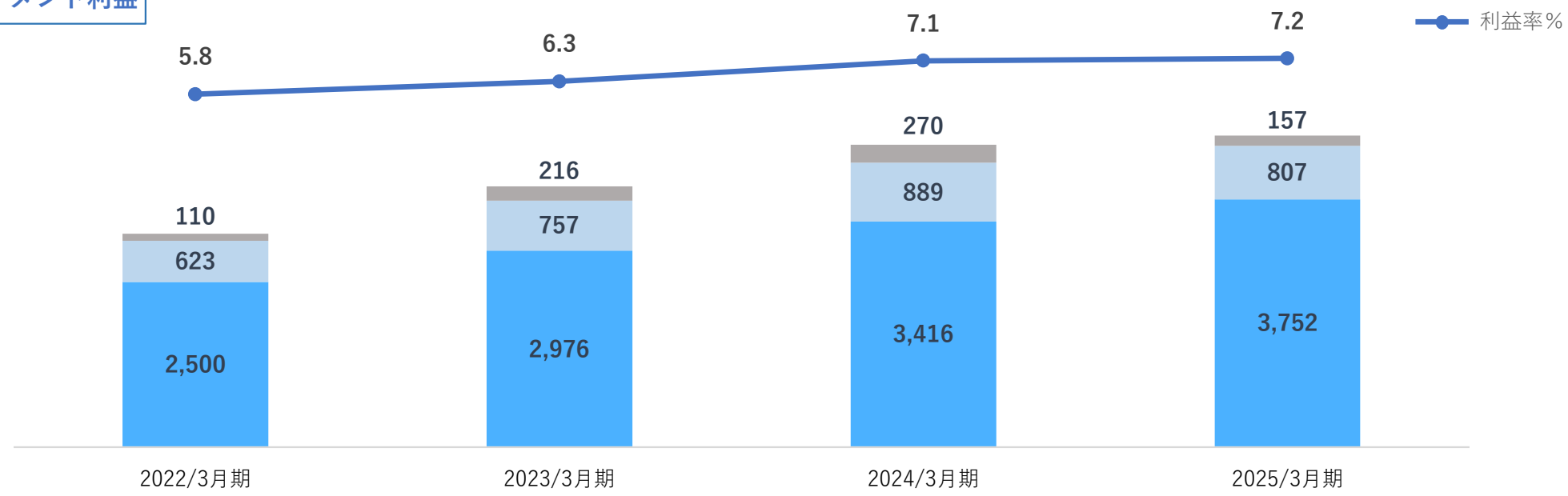
セグメント別業績推移

売上高



※ セグメント間の内部売上高・振替高を除く

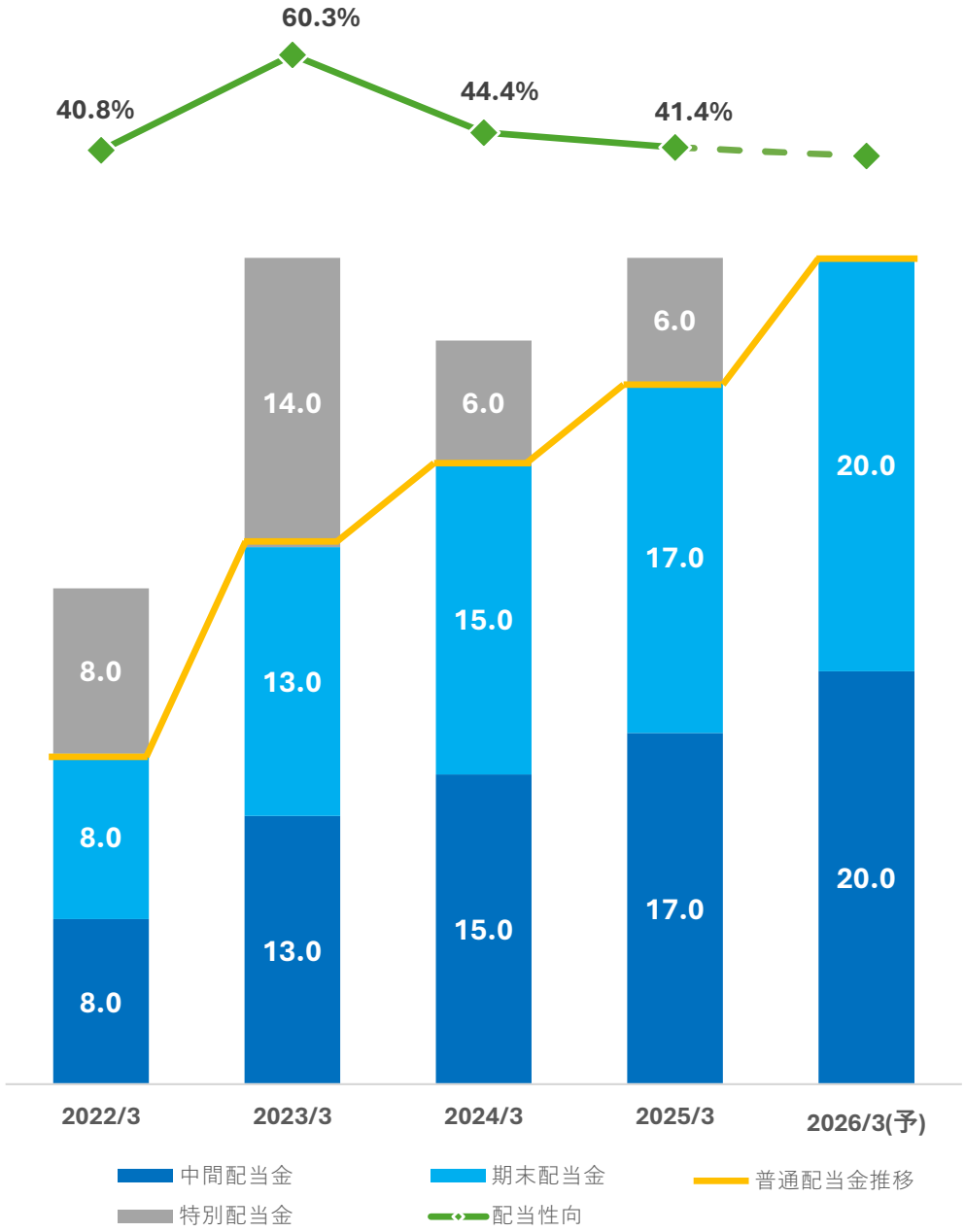
セグメント利益



※ 2022/3月期より「収益認識に関する会計基準」を適用

株主還元の状況

1株当たり配当金の推移



【2025年3月期　配当状況】

■　2025年3月期　中間配当

当初計画の16円から17円への増配

■　2025年3月期　期末配当

当初計画の17円に加え、特別配当6円の実施を決議

■　2025年3月期　年間配当

当初計画の34円から40円への増配

【2026年3月期　配当予想】

■　2026年3月期は普通配当として、

中間/期末 共に20円の配当を予想

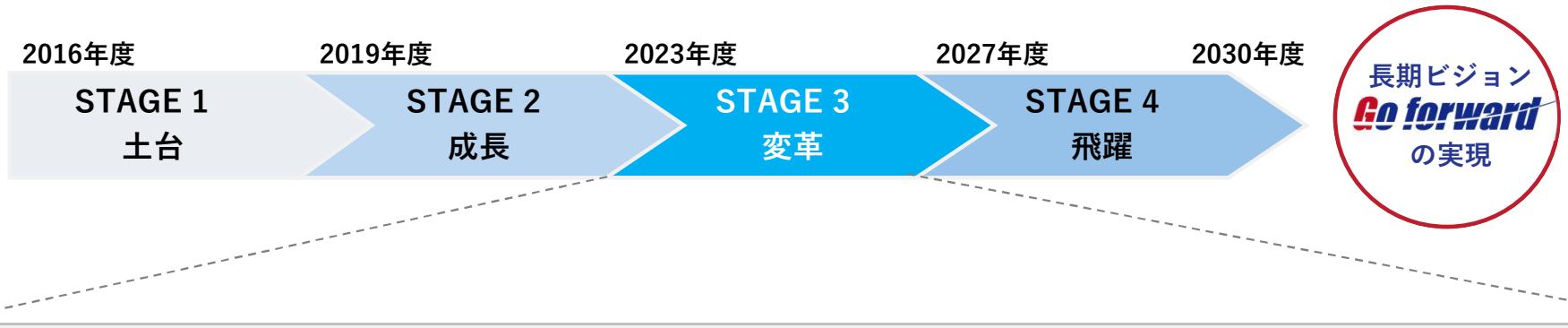
【株主還元方針】

中期経営計画「Go forward STAGE3」の期間中

において配当性向40%以上の定常化

２．中期経営計画 Go forward STAGE3
財務目標の修正について

中期経営計画 Go forward STAGE3（概要）



基本方針

新たな成長軌道をつくるために
「変革」を果たす

- サステナビリティ重視の潮流等の外部環境変化を機会と捉え、更なる成長につなげるために、各事業の特性に合わせて、市場と対話する力を徹底的に磨く
- 「社会課題解決企業への進化」に向けた新しい挑戦を補強する人財戦略、財務戦略を立案・推進する

財務目標（2026年度時点）

	当初目標
連結当期純利益	20億円
ROE	8%以上
配当性向	40%以上

投資枠（STAGE3累計）	
基盤整備 ＋ 成長投資	100億円

中期経営計画　財務目標の上方修正

- 最終年度(2027年3月期)の財務目標のうち、連結当期純利益の目標を上方修正した。
- 2025年3月期において、薬品貯蔵設備の増強や日用品受託生産仲介サービス等、中期経営計画の施策効果もあり、当初目標値を上回る利益水準に達したことを考慮。

財務目標（2026年度時点）

	当初目標	修正目標
連結当期純利益	20億円	24億円 以上
ROE	8%以上	変更なし
配当性向	40%以上	

投資枠（STAGE3累計）

基盤整備 ＋ 成長投資	100億円

免責事項

本資料の内、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定性及び今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。

お問い合わせ先

ソーダニッカ株式会社

経営企画・IR部

✉ sn-ir@sodanikka.co.jp

https://www.sodanikka.co.jp